

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング
 コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 敏夫

TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,162	30.9	351	114.2	317	123.4	252	139.7
26年3月期第2四半期	3,944	10.2	164	5.1	141	△7.8	105	△4.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 253百万円 (136.2%) 26年3月期第2四半期 107百万円 (△2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	13.48	12.97
26年3月期第2四半期	5.76	5.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	10,429	2,274	20.6
26年3月期	9,728	1,886	18.0

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 2,150百万円 26年3月期 1,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	—	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,426	11.0	674	19.8	601	30.4	342	13.8	18.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 2社 (社名) ASRAPPORT FRANCE SAS、
レゾナンスダイニング株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	19,117,915 株	26年3月期	18,553,258 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	2,400 株	26年3月期	2,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	18,719,451 株	26年3月期2Q	18,271,151 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

外食産業におきましては、業態により消費マインドの回復が見られているところはあるものの、円安等による原材料価格の上昇、人材不足による人件費の上昇など不安定要素も多く、先行き不透明な状態が続いております。

このような中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」の各課題に取り組みました。

株式会社プライム・リンクでは、「牛角」がファミリー層への取り組みを強化、人気キャラクターを使ったお子様向けのキャンペーンやテレビCMなどの効果もあり堅調に推移しました。また「とりでん」では、郊外立地を活かして地域密着の昼宴会による新たな需要の掘り起こしとともに、季節メニューの投入によるリピーターの増加に取り組みました。

株式会社とり鉄では4月にメニュー変更を実施、名物商品の強化、メニュー数の絞り込み等によるオペレーション及び食材管理の効率化により、原価率を低減させました。

こうした結果、外食事業に於ける既存業態売上高前年同期比においては、「牛角」100.4%、「とりでん」97.7%、「おだいどこ」96.5%、「とり鉄」100.1%、グループ全体で99.5%となりました。

また、平成25年9月にグループに加わった乳製品メーカーの株式会社弘乳舎は、既存のバターや脱脂粉乳に加え、新たに開始した液状乳製品の販売が堅調であったことや、アイスクリームやデザートを受託製造の伸びにより売上・利益ともに貢献しました。また、平成25年12月に子会社である株式会社フードスタンド・インターナショナルが譲り受けた洋菓子製造販売のGOKOKU事業も売上増に寄与しました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,162百万円（前年同四半期比30.9%増）、営業利益は351百万円（前年同四半期比114.2%増）、経常利益は317百万円（前年同四半期比123.4%増）、四半期純利益は252百万円（前年同四半期比139.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 店舗運営

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの直営店舗数は41店舗となり、前年同期に比べ2店舗減少しました。「GOKOKU」6店舗が加わった一方、「とり鉄」はフランチャイズ加盟店への譲渡等により3店舗が減少し、「おだいどこ」、「たこばやし」他計5店舗を閉店しました。その結果、当第2四半期の店舗運営の売上高は1,349百万円（同6.3%減）、営業利益64百万円（前年同四半期は営業利益5百万円）となりました。

② フランチャイズ

当第2四半期連結会計期間末における当社グループのフランチャイズ店舗数は300店舗となり、前年同期と同数となりました。「牛角」で8店舗が増加した一方、「とりでん」、「おだいどこ」、「たこばやし」で計8店舗が減少しました。その結果、フランチャイズの売上高は1,890百万円（同11.4%増）、営業利益683百万円（同30.3%増）となりました。

③ 食品

食品事業においては、乳製品メーカーである株式会社弘乳舎による乳製品の販売が好調であったことやアイスクリームやデザートを受託製造が伸長したことにより、食品の売上高は1,445百万円（同294.7%増）、営業利益は81百万円（前年同四半期は営業利益2百万円）となりました。

④ その他

転貸における売上、加盟企業向け販促物の売上、通販や催事における商品売上等を中心に、売上高は476百万円（同8.3%増）、営業利益88百万円（同297.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は10,429百万円となり、前連結会計年度末に比較し701百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

負債合計は8,155百万円となり、前連結会計年度末と比べ313百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

純資産については、四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ387百万円増加し、2,274百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新たに設立したASRAPPORT FRANCE SASを、また、当第2四半期連結会計期間において、レゾナンスダイニング株式会社の株式を取得したことから、当第2四半期連結累計期間より、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,650,084	2,843,224
受取手形及び売掛金	1,078,951	973,100
商品及び製品	406,477	280,949
仕掛品	8,196	7,914
原材料及び貯蔵品	35,769	25,971
その他	774,305	1,151,906
貸倒引当金	△14,477	△13,685
流動資産合計	4,939,307	5,269,381
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,397,300	1,397,300
その他(純額)	742,670	702,054
有形固定資産合計	2,139,970	2,099,354
無形固定資産		
のれん	1,628,727	1,935,526
その他	30,582	26,086
無形固定資産合計	1,659,310	1,961,613
投資その他の資産	989,775	1,099,582
固定資産合計	4,789,055	5,160,550
資産合計	9,728,362	10,429,931

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,354	652,621
短期借入金	608,600	222,290
1年内返済予定の長期借入金	982,323	1,318,943
未払法人税等	84,566	113,300
賞与引当金	30,692	24,648
店舗閉鎖損失引当金	—	3,297
資産除去債務	3,835	3,835
その他	913,723	895,350
流動負債合計	3,273,095	3,234,287
固定負債		
社債	122,500	289,000
新株予約権付社債	75,000	—
長期借入金	3,306,084	3,516,186
役員退職慰労引当金	50,862	—
退職給付に係る負債	91,571	91,941
資産除去債務	83,666	89,074
その他	839,091	935,173
固定負債合計	4,568,775	4,921,375
負債合計	7,841,870	8,155,663
純資産の部		
株主資本		
資本金	741,591	816,164
資本剰余金	699,888	774,461
利益剰余金	314,831	567,163
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	1,754,882	2,156,360
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	△6,179
為替換算調整勘定	—	△37
その他の包括利益累計額合計	846	△6,217
新株予約権	45,741	30,922
少数株主持分	85,021	93,202
純資産合計	1,886,491	2,274,268
負債純資産合計	9,728,362	10,429,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,944,003	5,162,706
売上原価	2,265,482	3,233,714
売上総利益	1,678,521	1,928,991
販売費及び一般管理費	1,514,391	1,577,441
営業利益	164,129	351,550
営業外収益		
受取利息	3,663	7,769
受取補償金	7,299	—
その他	5,890	10,894
営業外収益合計	16,853	18,663
営業外費用		
支払利息	10,443	38,877
その他	28,634	14,264
営業外費用合計	39,078	53,142
経常利益	141,904	317,071
特別利益		
固定資産売却益	340	682
環境安全対策引当金戻入額	24,108	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	50,862
その他	3,915	9,500
特別利益合計	28,364	61,045
特別損失		
固定資産売却損	184	—
固定資産除却損	3,397	4,630
減損損失	—	431
店舗閉鎖損失	13,884	6,320
その他	21,893	7,303
特別損失合計	39,361	18,685
税金等調整前四半期純利益	130,908	359,430
法人税、住民税及び事業税	10,460	91,774
法人税等調整額	13,456	7,143
法人税等合計	23,917	98,918
少数株主損益調整前四半期純利益	106,990	260,512
少数株主利益	1,723	8,180
四半期純利益	105,267	252,331

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	106,990	260,512
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315	△7,025
為替換算調整勘定	—	△37
その他の包括利益合計	315	△7,063
四半期包括利益	107,306	253,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,582	245,268
少数株主に係る四半期包括利益	1,723	8,180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

持分法適用関連会社の取得について

当社は、平成26年10月1日付で、英国法人T&S Enterprises (London) Limited (以下、T&S社)、S.K.Y. Enterprise UK Limited (以下、S.K.Y.社) 及びSushi Bar Atari-Ya Limited (以下、Atari-Ya社) の3社の株式を取得し、同3社を持分法の適用の範囲に含めております。

1. 株式取得の目的

当社は焼肉、居酒屋等の外食フランチャイズを中心に全国で約350店舗を展開しておりますが、昨年より新たに「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げて外食から生産事業への進出を果たし、多層的な付加価値を生み出すビジネスモデルの構築に取り組んでおります。

外食産業は、業態によっては景気回復の恩恵を受けながらも、全般的には原材料価格の上昇や企業間競争の激化など経営環境は楽観を許さない状況にあります。そうした中、当社は戦略の一つに「海外市場への進出」を掲げ、外食業態の出店準備を進めております。

一方、T&S社等3社はロンドンにおいて日本食料理店の運営、水産物の加工・卸、食材の輸出入を約15年にわたって手掛けており、イギリスを中心としたヨーロッパ市場における水産物を含む日本料理の食材の加工販売に強みを持っております。水産物の加工卸を担うT&S社、食材の輸出入卸を行うS.K.Y.社、寿司店などを運営するAtari-Ya社が食材の調達、加工、販売までを担う体制を構築しております。

海外、特にヨーロッパへの進出を計画している当社にとって、高品質な原材料の確保は重要な課題のひとつです。日本食関連の食材を調達、加工、販売まで一連で行う上記3社の株式取得は、当社の海外戦略上重要であり、今後、当社が「食のバリューチェーン」をグローバルに構築していくための大きな足掛かりとなるものと考えております。

2. T&S Enterprises (London) Limitedの概要

(1) 株式取得先の名称、事業内容、規模

名称 : T&S Enterprises (London) Limited
事業内容 : 水産物加工、卸販売
規模(売上高) : £9,624,621 (平成25年12月期)

(2) 株式取得の時期 平成26年10月1日

(3) 取得する株式の数、取得後の持分比率

取得株式数 : 270株
取得後の持分比率 : 27.0%

(4) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金による一括支払い

3. S.K.Y. Enterprise UK Limitedの概要

(1) 株式取得先の名称、事業内容、規模

名称 : S.K.Y. Enterprise UK Limited
事業内容 : 食品の輸出入、卸販売
規模(売上高) : £3,267,881(平成25年8月期)

(2) 株式取得の時期 平成26年10月1日

(3) 取得する株式の数、取得後の持分比率

取得株式数 : 21株
取得後の持分比率 : 21.0%

(4) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金による一括支払い

4. Sushi Bar Atari-Ya Limitedの概要

(1) 株式取得先の名称、事業内容、規模

名称 : Sushi Bar Atari-Ya Limited
事業内容 : 飲食店の運営及び水産物等の小売事業
規模(売上高) : £2,301,507(平成25年12月期)

(2) 株式取得の時期 平成26年10月1日

(3) 取得する株式の数、取得後の持分比率

取得株式数 : 300株
取得後の持分比率 : 30.0%

(4) 支払資金の調達及び支払方法

自己資金による一括支払い